

# 工業部会通信

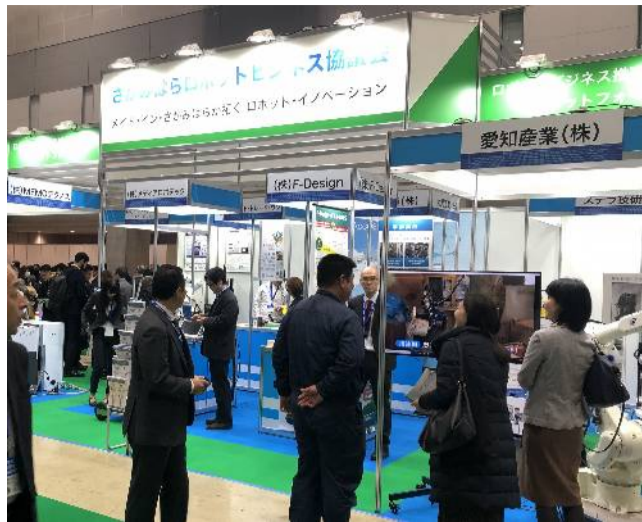
(発行)  
 かながわ経済新聞合同会社  
 〒252-0239  
 相模原市中央区中央3-12-3  
 商工会館本館1階  
 ※プリントしてご自由にお読みください。



## 国際ロボット展に共同出展

# 独創技術をアピール

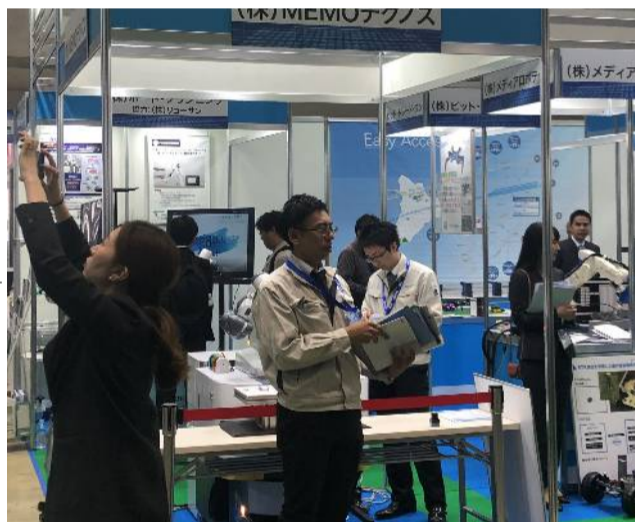
さがみはらロボットビジネス協議会は、12月18〜21日に東京ビッグサイトで開催された「2019国際ロボット展」に出展した。同協議会の会員企業8社が展示し、サービ系から産業用、機構設計から要素技術に至るまで、ロボットに関連する各社のさまざまなソリューションを来場者に提案した。



さがみはらロボ協のブース

## さがみはらロボ協

同展示会は、今年で23回目を迎える世界最大級のロボット・トレードショー。国内外のロボットメーカーおよびロボット関連企業の最新技術・関連製品を一堂に展示し、国内外の来場者との商談と技術交流を図るのを目的に開催されている。今回、同協議会からの出展企業は、愛知産業、F i Design、大沢工業、ステラ技研、ピッ



多くの来場者詰めかけた会場



各社との独創技術をアピール

## ステラ技研 高所作業での転落防止 「振れ止め装置」開発

ステラ技研（工業部会員、緑区西橋本）は、ゴンドラによる高所での作業で、転落事故防止につながる「ゴンドラ振れ止め装置」を開発した。電気で真空状態を作り出すことで、壁に垂直方向にピタリと吸着する独自の開発のパッド「タコパッド」を用いる。このパッドを複数台搭載した回転体をゴンドラに取り付けられ、昇降や固定がスムーズにできる動力源にもなる。2020年春の製品化を目指す。



技術の肝になる「タコパッド」

高所での作業時、ゴンドラでの移動はロープで吊るしながら昇降する。しかし突発的な強風などに見舞われると不安定になり、最悪の場合、落下につながるケースもある。実際、転落事故も後を絶たない。そこで同社は「ゴンドラ振れ止め装置」を開発。現在、製品化に向けてゴンドラ生産者と検証している。同装置の肝は、10年ほど前に開発したタコパッド

ド。コンクリートやモルタル、タイル壁など、表面に凹凸があっても吸着して頑丈に固定できるもので、1台で1000キロ以上の荷重にも対応する。また、このパッドを複数搭載した回転体をゴンドラの動力として回転させることで、昇降が自在にコントロールできる。製品化した場合、1台150万円程度を想定する。（かながわ経済新聞記事から）

## 左利きグッズ知って 菊屋浦上商事

SDGs ワークショップ開催



市立上溝中学校の生徒4人が参加。初日はあいさつの練習から始まり、「店員」としてレジャー陳列などの店内業務を体験した。また、左利きグッズやSDGsについて、浦上裕生社長が説明した。2日目には学んだことを振り返り、全員で協力しながら店内掲示用のポスターを制作した。

左利きグッズ専門コーナーを置く文具店、菊屋浦上商事（工業部会員、中央区相模原）は、地元中学生の職場体験学習を2日間受け入れた。写真。持続可能な開発目標（SDGs）にも盛り込まれている「人や国の不平等をなくそう」をコンセプトに、少数派である左利き用の専門グッズを扱う同店での業務を体験してもらった。将来に役立ててもらおうが狙い。地元・相模原市と相模原青年会議所も協力した。



さあ、5年後の未来を見に行こう。

## 新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会